

ハフハフハフー

どくがめいしんせ、らじやんと

2年 T・Sさん

ほくは、プハーと友だちになりたいと思いました。なぜなら、プハーは友だちになるためにどくを出さないようにがんばってくれたり、友だちをたすけるゆー気があり、心がやさしいと感うからです。

しかし、どくはこわいです。もし、おそわれるなら。

プハーは、ルリカケスとクロウサギとトゲネズミをおそわなかったけど、プハーがどくのあなに木を入れたのが外れてしまいみんなにむかってどくを出してしまいました。こわい、そう思いました。どくがあたったら、びょう気になってしまからです。

かな川くんには、ハプはいませんが、身近な公園には、はちがいます。はちにもうどくがあって、さされたら、いしきがなくなってしまいます。ほくは、はちがいたらはしってにげます。

プハーも、はちも、どくがあることがきょうつうてんです。しかし、プハーはどくを出さないようにがんばってくれることが、ちがいます。

どくがあることは、いいところもあるし、わるいところもあると思います。いいところは、自分や友だちをまもれることです。わるいところは、どくがあるというだけで、こわがられてしまうことです。

プハーはハフなので、生まれながらどくをもっています。自分が、どれだけでもよくしてもかえられません。

プハーは、自分のどくがきらいで、どくのせいでともだちがいきなくて、かわいそうでした。しかし、そのどくでみんなをたすけることが出きました。どくはみんなをまもれるいいものだと思ついたことで大人になったプハーは自分のどくに自しんをもてるようになり、よかったなと思いました。